



ツノメガニ (十脚目スナガニ科) *Ocypode cerathophthalma*

大きさ：甲長 3.5cm、甲幅 4cm ほど。

成体(大人)のオスの目の先に棒状の角が発達しており、名前の由来となっている。メスの角は短い。波打ちぎわの上部に巣穴をほり、おもに夜間に活動するが、昼間も穴から出ることもある。干潟にできた砂浜に、直径 4cm くらいの穴が開いていたら、このカニの巣穴である可能性が高い。

走るのがたいへん速いので、このカニを見つけても影だけ残して、あっという間に遠くにいってしまうことがよくあるので、英名で「ゴーストクラブ」とも呼ばれる。

写真は、泡瀬地区の IT ワークセンター前の干潟の上で、なぜかじっとしていた。よく見ると、なにやら餌を食べている様である。ゴーストクラブがゴーストではなくなっていた。泡瀬干潟でよく観察できるカニの一つである。